

一般財団法人家電製品協会
専務理事 川上 景一 殿

文書番号（任意）
作成年月日（必須）

文書番号●●●●
2027年 月 日

首長の所在する事務所の住所を記入してください。

住所
市（or 区、町、村）名
市（or 区、町、村）長

不法投棄未然防止事業協力 実績報告書

（2026年度分）

不法投棄未然防止事業協力実施要項（以下「協力要項」という。）第15条第1項の規定に基づき不法投棄未然防止事業協力実績報告書を提出いたします。

記

1. 事業の結果報告書（第2面）
2. 助成金の試算（第3面）
3. 提出書類（リース契約書等、既に提出しているものについては提出の必要はありません。）
 - ① 契約書（品名、数量及び金額部分記載のもの）の写し
 - ② 納品書及び請求書の写し
 - ③ 支払を証するものの写し（支出命令書、領収書等）
 - ④ 防止事業で実施した設備等の写真の写し
 - ⑤ パトロール日報（サンプル数枚）
 - ⑥ その他あらかじめ指定された書類

（注1） この実績報告書を証拠書類とともに郵送すること。さらに、第2及び第3面は電磁的記録を送信すること

（注2） この実績報告書で使用する用語の定義は、この実績報告書に特に定めるほかは、協力要項に定めるところによるものとする。

部署名
担当者氏名
電話番号
メールアドレス

担当者の所在する事務所の郵便番号及び住所等を記入してください。担当者異動にも対応できる様、可能な限り、担当者の所属する部門のアドレスを記入してください。

以上

市（or区、町、村）名

1. 事業の結果報告書

記入事例

(1) 防止事業について

① 防止事業期間

2026年 1 月 1 日～2026年 12 月 末日

下記の例に基づいて下表を記載してください。

・看板、不法投棄された特定廃棄物に貼付する警告ステッカー等は下表の例にならって作成及び設置/貼付を行った時期を記載してください。

・リース物件等、助成対象の費用が継続的に発生した場合はその期間を記載してください。

・パトロールは実施した期間を記載してください。

事業名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例)看板の作成と設置			← 作成	→						設置		→
例)パトロールの実施												
	←											→

② 実施した防止事業の内容（個別事業ごとに具体的な内容を記載）

実施した防止事業の内容について下記項目を必ず記載してください。また、事業の様子がわかるような写真を別途添付してください（既に提出しているものは不要ですが、提出済みと記載すること）。

【項目例】（不要な項目例は削ること）

・監視カメラ：

- (a) 購入/リース台数・入手日：

購入/リース台数：3台 購入/契約日：4月20日
- (b) 設置数・設置日：

設置台数：3台 設置日：5月20日・6月20日
- (c) 設置箇所：

林道入口、農道35号
- (d) 事業終了時未使用在庫数
(無かった場合は、「0」（ゼロ）と記載すること）：

1台

- (e) 実施した事業内容が応募申請時に計画した内容から時期で3ヶ月、数量で3割以上の変更があった場合は、その内容と理由を記載すること

変更なし

(提出書類) 納品書・請求書・支払書・本体、設置写真

・看板、のぼり旗：

- (a) 作成数・作成日：

看板：20枚・5月20日 のぼり：10枚・6月20日
- (b) 設置数・設置日：

看板：15枚・6月20日以降随時 のぼり：8枚・7月20日以降随時
- (c) 設置箇所：

市内全域
- (d) 事業終了時未使用在庫数
(無かった場合は、「0」（ゼロ）と記載すること）：

看板：5枚 のぼり：2枚

- (e) 実施した事業内容が応募申請時に計画した内容から時期で3ヶ月、数量で3割以上の変更があった場合は、その内容と理由を記載すること：

変更なし

(提出書類) 納品書・請求書・支払書・本体、設置写真

・パトロール：

- (a) チームの数、1チームの人数：2チーム 4名
- (b) 1回当たりの時間（平均〇時間）：8時間
- (c) 実施期間、回数(日数) 1月～12月 月12回 x 12か月 年間：144回 2チーム計：288回
- (d) 業務の内容、特徴等：不法投棄未然防止パトロール&回収 他
- (e) 実施した事業内容が応募申請時に計画した内容から時期で3ヶ月、数量で3割以上の変更があった場合は、その内容と理由を記載すること：

変更なし

(提出書類) 請求書・支払書・実施回数確認書類等・パトロール日報（サンプル数枚）

・警告ステッカー： 実施なしの場合は削除してください

- (a) 作成数・作成日：
- (b) 使用数：
- (c) 事業終了時未使用在庫数
(無かった場合は、「0」（ゼロ）と記載すること）：
- (提出書類) 納品書・請求書・支払書・本体、設置写真

(2) 予定引渡事業について

① 引渡事業期間

2026年 10 月 1日～2026年 12 月 末日

② 予定引渡事業期間に予定対象地域において不法投棄される特定廃棄物を回収し、再商品化等実施者に引き渡した量（月ごとに引き渡した量を記載すること）

(単位：台)

品目 \ 引渡月	10月	11月	12月	合計
ユニット形 エアコンディショナー	0	0	0	0
ブラウン管式テレビ	1	1	1	3
液晶式 及びプラズマ式テレビ	2	2	2	6
電気冷蔵庫 及び電気冷凍庫	2	2	3	7
電気洗濯機 及び衣類乾燥機	2	2	4	8
合計	7	7	10	24

③ 引渡事業の実施結果

実施した月ごとに特定廃棄物が不法投棄されていた場所の状況と当該場所から回収した方法を具体的に記載すること。また、**当該場所の状況が判る写真を提出**お願いします。

【記入例】2024年〇月・回収について

(a) 場所：投棄されていた場所について、高架下、河川敷、雑木林等

(b) 回収品目：ブラウン管式テレビ（●台）、冷蔵庫（●台）等

(c) 回収者：委託業者、職員、パトロール員等

(d) 回収方法：手作業、重機使用等・引渡しについて 引渡者：委託業者、職員等

(3) 防止事業及び引渡事業による成果と今後の課題や改善事項

(防止事業期間中の特定家電の不法投棄量の推移、状況については**必ず記入ください。**)

・防止事業による成果・課題・改善事項

【記入にあたり】

・実施された事業についての成果を、内容、特定廃棄物の不法投棄量の推移等を勘案して下記事項を記載してください。

また、下記事項以外にも特筆すべき事項がありましたら記載してください。

・事業全体に対する評価（不法投棄量の増減・計画に対する達成度）

・実施した事業ごとの評価（効果・計画に対する達成度）

・具体的な成功事例・今後の課題や改善すべき事項

・引渡事業による成果・課題・成果事項

上記同様にご記入ください

(4) 対象地域における協力要項第5条第4項第5号に規定する体制（以下「回収体制」という。）について

① 回収体制の内容

防止事業期間中の体制について以下の候補のうち該当するものの前にある□をクリックして 四とするか○印で選択（複数選択可）し、「その他」を選択した場合は内容を具体的に記載すること。

☒ イ) 市区町村等又は市区町村等の委託業者が引取りを行う。

☐ ロ) 市区町村等が協定締結又は協力依頼した家電小売業者が引取りを行う。

☐ ハ) 市区町村等が協定締結又は協力依頼した収集運搬許可業者が引取りを行う。

☐ ニ) その他（

）

・上記が応募申請書と異なる場合はその理由

② 実施した住民への回収体制の周知方法について

以下の候補のうち該当するものの前にある□をクリックして四とするか○印で選択（複数選択可）し必要事項を記載、「その他」を選択した場合は周知方法を具体的に記載すること。

☒ イ) ホームページに掲載（すでに実施している場合は該当ページのURLを記載）

URL : **https://www. ◇◇◇◇自治体TOP等ではなく目的のものが判るURLを記入下さい**

☒ ロ) 配布物に掲載（配布物名： **広報誌**

）

☐ ハ) その他（

）

③ 回収体制を利用して特定廃棄物を排出する者が支払う収集運搬料金の単純平均額
(単位：円、消費税込み)

エアコン	¥500
ブラウン管式テレビ	¥1,000
液晶式・有機EL・プラズマ式テレビ	¥1,000
冷蔵庫・冷凍庫	¥2,000
洗濯機・衣類乾燥機	¥2,000

(5) 対象地域における粗大ごみの回収方式

防止事業期間中に採用しようとしている方式について、以下の候補のうち該当するものの前にある□をクリックして☑とするか○印で選択すること。いわゆるステーション回収方式等、廃棄物の不法投棄を誘発する懸念のある方式を採用しようとしている場合は、当該方式について講じようとしている不法投棄を防止するための措置とその効果も記載すること。

☒ イ) 戸別回収方式

☐ ロ) ステーション回収方式（不法投棄防止のための措置と効果を記入）
措置（）
効果（）

☐ ハ) その他の回収方式（具体的回収方法及び不法投棄防止のための措置と効果を記入）
方法（）
措置（）
効果（）

・上記が応募申請書と異なる場合はその理由

(6) 違法な不用品回収業者に対する指導等又は違法な不用品回収業者に関する住民への広報の内容
実施内容を下記項目から選択してください。（複数回答可）

☒ イ) ホームページに掲載（該当ページのURLを記載）☐ 実施済
(URL：)

☐ ロ) 配布物に掲載☐ 実施済
(配布物名： 部数： 部)

☐ ハ) その他☐ 実施済

※違法な不用品回収業者の住民への広報をされていることが助成金お支払いの条件となります。




(7) 協会が実施している不法投棄未然防止事業協力への要望

事業内容別費用明細

防止事業期間： 2026年1月1日～2026年12月31日
引渡事業期間： 2026年10月1日～2026年12月31日

記入事例

◆事業費用の算出根拠は末尾の計算シートに記入ください。費用は消費税込みで記入してください。（単位：円）

費目	実施した事業内容	1～3月分 申請済み費用	助成金交付 申請費用	合計	費目上限額
Ⅰ 設備費	監視カメラ	20,000	60,000		上限額が 0円 の場 合は、0 を 記入してく ださい。 
	看板	0	100,000		
この項目に記入した費用合計、費目上限額は、第3面に自動反映しますので、必ずご記入をお願いします。					
Ⅰの小計額		20,000	160,000	180,000	200,000
Ⅱ 労務費	パトロール	600,000	1,800,000		上限額が 0円 の場 合は、0 を 記入してく ださい。 
Ⅱの小計額		600,000	1,800,000	2,400,000	2,400,000
Ⅲ その他経費	車両マグネットシート		100,000		上限額が 0円 の場 合は、0 を 記入してく ださい。 
Ⅲの小計額		0	100,000	100,000	80,000
Ⅳ I からⅢ までの合計額 (防止費用計)		620,000	2,060,000	2,680,000	2,680,000
Ⅴ 撤去等費用			40,000	40,000	50,000
Ⅵ 引渡費用			77,000	77,000	60,000
Ⅶ 撤去・引渡 費用合計額		0	117,000	117,000	110,000
Ⅷ 防止費用と 撤去・引渡費用 の合計額 (Ⅳ＋Ⅶ)		620,000	2,177,000	2,797,000	2,790,000

(注) 撤去等費用は、引渡事業を第三者に委託した場合に当該第三者に支払う当該引渡事業の対価に限り、かつ再商品化等料金を除く。
対象期間は引渡事業3か月間

ご注意

 の網掛け部分は、自動計算されます。

市（or区、町、村）名

記入事例**助成金交付未申請 撤去等費用の算出根拠**

◆費用の算出根拠は必要に応じて末尾の計算シートも利用ください。

費用は消費税込みで記入してください。（単位：円）

項目	1回目	2回目	3回目	合計
対象地域において不法投棄されたすべての廃棄物（特定廃棄物を含む。）の撤去等に要した費用	100,000		150,000	<div>別紙1 「V 撤去等費用」の費用 合計と同じ金額となります。</div>
上記費用の内訳				
指定引取場所への運搬費	10,000		15,000	
撤去費	10,000		10,000	
対象地域において不法投棄された特定廃棄物の撤去等に要した費用	20,000	0	20,000	40,000
特定廃棄物の撤去等に要した費用の算出根拠	家電品按分結果20%の為 別途明細添付			

*撤去等に関する費用を事業協力申請していない場合、本紙は記載しないでください。

ご注意

別紙1『事業内容別費用明細』を、先に入力してください。

との網掛け部分は、自動計算されます。

2. 助成金の試算（消費税が課税されているものは税込みで記入すること。）

(1) 防止費用に係る助成金の試算

※ 防止事業に要した費用について、別紙1「事業内容別費用明細」に必要事項を記入の上、証拠書類とともに提出すること。

費目	費目上限額	防止事業に要した費用	流用額	確定費目上限額	補助対象防止費用	助成率	助成額	1～3月分助成金交付額	精算額
	a	b	c	d (a+c)	e (bとdのうち、いずれか低い額)	f	g (e×f)	h	i (g-h)
単位	円	円	円	円	円	%	円	円	円
I 設備費	200,000	180,000		200,000	180,000	50%	1,330,000	310,000	1,020,000
II 労務費	2,400,000	2,400,000		2,400,000	2,400,000				
III その他経費	80,000	100,000		80,000	80,000				
I からIIIまでの合計	2,680,000	2,680,000	0	2,680,000	2,660,000				

(2) 引渡費用（撤去等費用）に係る助成金の試算

※ 撤去等費用について、別紙1「事業内容別費用明細」及び別紙2「助成金交付未申請 撤去等費用の算出根拠」に必要事項を記入の上、証拠書類とともに提出すること。

撤去等費用	上限額	撤去等に要した費用	補助対象撤去等費用 C (AとBのうち、いずれか低い額)	助成率	助成額	1～3月分助成金交付額	精算額
	A	B	C	D	E (C×D)	F	G (E-F)
	円	円	円	%	円	円	円
	50,000	40,000	40,000	100%	40,000	0	40,000

(3) 引渡費用（再商品化等料金）に係る助成金の試算

※ お送りしている引渡実績確認書をご確認の上、記入してください。

品目	料金上限額	引渡事業により再商品化等実施者に引き渡した特定家庭用機器廃棄物の台数	引渡事業に要した費用（再商品化等料金に限る。）	補助対象引渡費用	助成率	1～3月分助成金交付額	精算額
	イ		ロ	ハ (イとロのうち、いずれか低い額)	ニ	ホ	ヘ (ハ×ニ)
単位	円	台	円	円	%	円	円
エアコン		0	0	60,000	100%	0	60,000
ブラウン管式テレビ		3	6,000				
液晶・有機EL・プラズマ式テレビ		6	12,000				
電気冷蔵庫・冷凍庫		7	35,000				
洗濯機・衣類乾燥機		8	24,000				
合計	60,000	24	77,000	60,000	100%	0	60,000

(4) 合計表

助成額 (g+E+ハ)	1,430,000
1～3月分助成金交付額 (h+F+ホ)	310,000
精算額 (i+G+ヘ)	1,120,000

引渡台数 0台 により 費用が 0円 の場合は、
台数 費用 共に 0 を 記入してください。

未記入箇所があると、自動計算されません。
(アラートが消えません。)

* 3ヵ月間の対象引渡期間の実績台数と金額を